

(様式第9)

形大医管第 54 号

平成21年10月 2日

厚生労働大臣 殿

山形大学医学部附属病院

山下 英

山形大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績
→ 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績
→ 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	86 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師, 歯科医師, 薬剤師, 看護師及び准看護師, 管理栄養士その他の従事者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	315人	3.9人	318.9人	看護業務補助者	23人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	20	0	20	理学療法士	5	臨床検査技師	29
薬剤師	26	0	26	作業療法士	4	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	2	検査その他	0
助産師	11	0	11	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	470	6.2	476.2	臨床工学技士	6	医療社会事業従事者	0
准看護師	0	0	0	栄養士	1	その他の技術員	2
歯科衛生士	1	0	1	歯科技工士	1	事務職員	82
管理栄養士	5	0	5	診療放射線技師	22	その他の職員	68

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者, 外来患者及び調剤の数

歯科, 矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	487.0人	6.6人	493.6人
1日当たり平均外来患者数	1,028.7	43.3	1,072.0
1日当たり平均調剤数	522.34		剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科, 矯正歯科, 小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	12 人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5 人
重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB) 治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	55 人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	27 人
・多発性硬化症	33 人	・ウェゲナー肉芽腫症	6 人
・重症筋無力症	41 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	59 人
・全身性エリテマトーデス	106 人	・多系統萎縮症	37 人
・スモン	1 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2 人
・再生不良性貧血	20 人	・膿疱性乾癬	4 人
・サルコイドーシス	37 人	・広範脊柱管狭窄症	5 人
・筋萎縮性側索硬化症	40 人	・原発性胆汁性肝硬変	32 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	71 人	・重症急性膵炎	3 人
・特発性血小板減少性紫斑病	21 人	・特発性大腿骨頭壊死症	17 人
・結節性動脈周囲炎	18 人	・混合性結合組織病	27 人
・潰瘍性大腸炎	153 人	・原発性免疫不全症候群	5 人
・大動脈炎症候群	7 人	・特発性間質性肺炎	4 人
・ピュルガー病	14 人	・網膜色素変性症	29 人
・天疱瘡	14 人	・プリオン病	0 人
・脊髄小脳変性症	41 人	・原発性肺高血圧症	4 人
・クローン病	53 人	・神経線維腫症	15 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	6 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1 人
・パーキンソン病関連疾患	95 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2 人
・アミロイドーシス	5 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1 人
・後縦靭帯骨化症	15 人	・副腎白質ジストロフィー	1 人
・ハンチントン病	10 人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	18 回/年	
剖検の状況	剖検症例数 31 例	剖検率 11.0 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
経胸壁心臓超音波法において内膜自動トレース法を用いた新しい左心耳機能解析法の確立	廣野 撰	第一内科	2,100	補委 文部科学省科学研究費
転写因子MafB遺伝子変換マウス作成による喫煙肺気腫の病態研究	柴田 陽光	第一内科	1,500	補委 文部科学省科学研究費
肺動脈性肺高血圧症におけるToll like receptorの役割について	二藤部 丈司	第一内科	1,400	補委 文部科学省科学研究費
CCL1遺伝子変換マウス作成による呼吸器感染症の病態研究	井上 純人	第一内科	2,000	補委 文部科学省科学研究費
C型肝炎ウイルス感染に関連する脂質生合成酵素遺伝子(TM7SF2)の解析	齋藤 貴史	第二内科	1,600	補委 文部科学省科学研究費
C型肝炎ウイルス株間における感染性キメラウイルスを用いた感染中和メカニズムの解析	渡辺 久剛	第二内科	1,600	補委 文部科学省科学研究費
パーキンソン病治療標的としてのリン酸化 α シヌクレインの生物学的解析	荒若 繁樹	第三内科	500	補委 文部科学省科学研究費
生活習慣を考慮した、糖尿病、高血圧、等の生活習慣病の危険遺伝因子の解析	大門 真	第三内科	1,700	補委 文部科学省科学研究費
耐糖障害は悪性新生物罹患の危険因子となりうるか、舟形町疫学研究	大泉 俊英	第三内科	1,800	補委 文部科学省科学研究費
小児脳疾患における介在ニューロンの病態解明	加藤 光広	小児科	1,800	補委 文部科学省科学研究費
ビタミンD欠乏症の疾患感受性遺伝子の解析	北中 幸子	小児科	1,100	補委 文部科学省科学研究費
先天性好中球減少症におけるG-CSF受容体遺伝子異常の臨床的・生物学的意義	三井 哲夫	小児科	600	補委 文部科学省科学研究費
乳幼児突然死症候群の病態解明	小田切 徹州	小児科	1,600	補委 文部科学省科学研究費
海馬のマルチショット拡散強調画像を用いた高齢者うつ病と軽度認知障害の比較	林 博史	精神科	300	補委 文部科学省科学研究費
幼少時期に受けた両親からの養育的要因が人格特徴・対人関係敏感症に与える影響	大谷 浩一	精神科	500	補委 文部科学省科学研究費
皮膚におけるTNF- α 変換酵素の機能解析	川口 雅一	皮膚科	1,600	補委 文部科学省科学研究費
食道癌の化学放射線療法に対する反応予測法の開発	根本 建二	放射線科	700	補委 文部科学省科学研究費
放射線照射マウスにおける発生フリーラジカルの定量分析と経時変化の解析	野宮 琢磨	放射線科	1,900	補委 文部科学省科学研究費
メチル化診断チップによる肺癌の分子診断法の確立と発癌リスク評価	遠藤 誠	第二外科	1,700	補委 文部科学省科学研究費
ヒト脳運動野の脳溝面の機能の解明	嘉山 孝正	脳神経外科	700	補委 文部科学省科学研究費
神経膠腫の腫瘍幹細胞維持機構の解明：低酸素環境の関与についての研究	櫻田 香	脳神経外科	1,300	補委 文部科学省科学研究費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
壊死骨の再生促進に関する研究：自家成長因子を用いた骨再生促進とその臨床応用の開発	高原 政利	整形外科	1,400	補 委 文部科学省科学研究費
誘導型NO合成酵素の発現調節に関わるエストロゲン受容体 α と β の相反する作用の解析	堤 誠司	産科婦人科	700	補 委 文部科学省科学研究費
卵の若返りに関する研究「新しい不妊治療のストラテジー確立を目指して」	五十嵐 秀樹	産科婦人科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費
卵巣癌の薬剤耐性化機序の解明と新しい分子標的治療の開発	太田 剛	産科婦人科	600	補 委 文部科学省科学研究費
治療の適正化を目指した糖尿病網膜症の網膜血管構造・機能の分子機構解析	山下 英俊	眼科	1,700	補 委 文部科学省科学研究費
アレルギー性鼻炎のステロイド耐性化機構の解明と関与分子を標的とした治療法の開発	太田 伸男	耳鼻咽喉科	1,300	補 委 文部科学省科学研究費
ELAC2を用いた頭頸部扁平上皮癌のアポトーシスの研究	野田 大介	耳鼻咽喉科	900	補 委 文部科学省科学研究費
脳損傷時における脂質代謝酵素の発現解析	川前 金幸	麻酔科	1,700	補 委 文部科学省科学研究費
損傷脳におけるグリア細胞による修復機構の解明	伊関 憲	救急科	1,300	補 委 文部科学省科学研究費
がん分子標的薬のポジトロン断層法による適応・効果判定法に関する基礎的検討	吉岡 孝志	腫瘍内科	1,100	補 委 文部科学省科学研究費
人工股関節素材摩擦粉に対するDGK依存性骨髄マクロファージ反応機構の解析	高木 理彰	リハビリテーション部	600	補 委 文部科学省科学研究費
心房リモデリングの成立機序に関する研究	宮本 卓也	集中治療部	1,500	補 委 文部科学省科学研究費
高次脳機能を温存する転移性脳腫瘍の治療法確立に関する研究	嘉山 孝正	脳神経外科	15,132	補 委 厚生労働省科学研究費
脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究	嘉山 孝正	脳神経外科	25,000	補 委 厚生労働省科学研究費
精神遅滞リサーチ・リソースの拡充と病因・病態解明をめざした遺伝学的研究(ARX遺伝子変異に起因する精神遅滞の分子遺伝学的研究)	加藤 光広	小児科	1,200	補 委 国立精神・神経センター
各種細菌の2008年臨床分離株の収集	五十嵐 雅彦	検査部	708	補 委 塩野義製薬(株)
デジタルマンモグラフィシステム品質管理用1ショットQCファントムのソフトコピーによる目視評価の比較	鈴木 隆二	がん臨床センター	1,001	補 委 富士フィルムメディカル(株)
セフェビム塩酸塩感受性試験	五十嵐 雅彦	検査部	390	補 委 プリストル・マイヤー(株)
重症心身障害児(者)の病因・病態解明、治療・療育、および施設のあり方に関する研究	加藤 光広	小児科	1,000	補 委 国立精神・神経センター
開口障害者への訓練用補助器具(開口訓練器)に関する研究	里見 孝	歯科口腔外科	200	補 委 (株)齋藤金型製作所

小計 20

計 41

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circulation Journal 2008 Nov; 72(11): 1800-1805	Risk stratification of chronic heart failure patients by multiple biomarkers.	Ishino M	第一内科
The American Journal of Cardiology 2008 Sep 1; 102(5): 606-610	Relation of serum heat shock protein 60 level to severity and prognosis in chronic heart failure secondary to ischemic or idiopathic dilated cardiomyopathy.	Niizeki T	第一内科
Circulation Journal 2008 Jul; 72(7): 1106-1111	Short cardiac iodine-123-metaiodobenzylguanidine imaging protocol in heart failure.	Arimoto T	第一内科
Pacing and Clinical Electrophysiology 2008 Apr; 31(4): 509-512	Electroanatomical mapping in partial atrial standstill for visualization of atrial viability and a suitable pacing site.	Arimoto T	第一内科
Journal of clinical apheresis 2008; 23: 105-110	A multi center study of granulocyte and monocyte adsorption apheresis therapy for ulcerative colitis-Clinical efficacy and production of interleukin-1 receptor antagonist.	Takeda H	第二内科
Journal of hepatology 2008; 49 : 17-24	What can be revealed by extending the sensitivity of HBsAg detection to below the present limit?	Togashi H	第二内科
Journal of the Neurological Sciences 2008;264:43-49.	Cerebral small vessel disease and C-reactive protein: results of a cross-sectional study in community-based Japanese elderly.	Wada M	第三内科
Metabolism 2008;57:333-338.	Impaired glucose tolerance is a risk factor for stroke in a Japanese sample-the Funagata study.	Oizumi T	第三内科
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 2008;15(4):179-184.	Genetic association between aldehyde dehydrogenase 2 (ALDH2) variation and high-density lipoprotein cholesterol (HDL-C) among non-drinkers in two large population samples in Japan.	Wada M	第三内科
Journal of the Neurological Sciences 2008;272:36-42.	Cerebral small vessel disease and chronic kidney disease (CKD): results of a cross-sectional study in community-based Japanese elderly.	Wada M	第三内科
Biochemical and Biophysical Research Communications 2008; 374:576-580	Salt consumption-dependent association of the GNB3 gene polymorphism with type 2 DM.	Daimon M	第三内科

小計:11

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Blood Cells, Molecules and Diseases 2008;41:202	A novel 12-base pair deletion mutation in exon 15 of the porphobilinogen deaminase gene in a Taiwanese patient with acute intermittent porphyria.	Sakabe J	第三内科
FEBS letters 2008; 582:3693-3700	N-terminal region of α -synuclein is essential for the fatty acid-induced oligomerization of the molecules.	Karube H	第三内科
Biochemical and Biophysical Research Communications 2008; 369:943-947	A functional polymorphism of the TNF- α gene that is associated with type 2 DM.	Susa S	第三内科
Peptides 2008 ;29:1241-1246.	Ghrelin infused into the portal vein inhibits glucose-stimulated insulin secretion in Wistar rats.	Cui C	第三内科
Biochemical and Biophysical Research Communications 2008; 365:466-471	Association of the PIK3C2G gene polymorphisms with type 2 DM in a Japanese population.	Daimon M	第三内科
末梢神経 2008;19:382-383.	ミトフシン2(MFN2)遺伝子異常による Charcot-Marie-Tooth病2A型の1例.	川並 透	第三内科
CLINICAL NEUROSCIENCE 2008;26(3):280-282	ALSの診断基準とその問題点.	川並 透	第三内科
日本内科学会雑誌 2008;97(8):1764-1770.	傍腫瘍性神経症候群:診断と治療の進歩 1. 中枢神経の障害.	川並 透	第三内科
日本臨床 2008;66:563-567.	遺伝性セルロプラスミン欠損症.	大門 真	第三内科
「図説 分子病態学」. 東京;中外医学社, 2008:331-335.	Parkinson病.	加藤 丈夫	第三内科
「今日の治療指針」(2008年版). 東京;医学書院, 2008:657.	口部ジスキネジー.	加藤 丈夫	第三内科
「痴呆疾患診療ガイドライン 今日の治療指針」(2008年版) 東京;医学書院, 2008:1623-1625.	日本神経学会ガイドライン.	加藤 丈夫	第三内科

小計:12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
「医学書院 医学大辞典」 (第2版). 東京;医学書院, 2008:9	亜急性壊死性脳脊髄炎.	加藤 丈夫	第三内科
「医学書院 医学大辞典」 (第2版). 東京;医学書院, 2008:582	偽性脊髄癆.	加藤 丈夫	第三内科
「医学書院 医学大辞典」 (第2版). 東京;医学書院, 2008:643	狂犬病性脊髄炎.	加藤 丈夫	第三内科
「医学書院 医学大辞典」 (第2版). 東京;医学書院, 2008:2176	脳脊髄灰白質炎.	加藤 丈夫	第三内科
「医学書院 医学大辞典」 (第2版). 東京;医学書院, 2008:2591	放射性脊髄炎.	加藤 丈夫	第三内科
「医学書院 医学大辞典」 (第2版). 東京;医学書院, 2008:2966	ワクチン接種後脳脊髄炎.	加藤 丈夫	第三内科
神経疾患最新の治療 2008;342-345.	傍腫瘍性神経症候群.	川並 透	第三内科
Nature Genetics 2008;40:782-788	De novo mutations in the gene encoding STXBPI (MUNC18-1) cause early infantile epileptic encephalopathy.	Kato M	小児科
Pediatric Research 2008;64:482-487	Cardiac ion channel gene mutations in sudden infant death syndrome.	Hayasaka K	小児科
Journal of Pediatric Hematology Oncology 2008;30:519-521	Severe neurotoxicities in a case of Charcot-Marie-Tooth disease type 2 caused by vincristine for acute lymphoblastic leukemia.	Hayasaka K	小児科
Comprehensive Psychiatry 2009; 50: 54-57	Parental overprotection increases interpersonal sensitivity in healthy subjects.	Otani K	精神科
Psychiatry Research 2009; 165: 181-186	Effects of the "affectionless control" parenting style on personality traits in healthy subjects.	Otani K	精神科

小計:12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
The Journal of Nervous and Mental Disease 2009; 197: 199-201	Increased body mass index associated with increased harm avoidance and decreased self-directedness in Japanese women.	Suzuki A	精神科
Behavioural Brain Research 2009; 203: 23-26	The -67A/T promoter polymorphism in the dopamine transporter gene affects personality traits of Japanese healthy females.	Shibuya N	精神科
The Journal of Dermatology 2008, April, 35, 4, p229-233	Case of hypereosinophilic syndrome with cutaneous necrotizing vasculitis.	Hayashi M	皮膚科
Journal of Dermatological Science 2008, October, 52, 1, p64-66	A novel MITF splice site mutation in a family with Waardenburg syndrome.	Monma F	皮膚科
Magnetic Resonance in Medical Sciences 2008; 7 (4): 211-213	MR Imaging of Fetal Omphalocele:A Case Report	Sugai Y	放射線診断科
IVR会誌 Jpn J Intervent Radiol 2009;24(1):032-036	頭頸部癌の動注化学療法 ■5. 上顎洞癌の超選択的シスプラチン大量動注療法	鹿戸 将史	放射線診断科
山形医学 2009;27(1)	拡散テンソル画像(Diffusion Tensor Imaging)を用いた脳幹部神経線維束の描出と脊髄小脳変性症への応用	本間 次男	放射線診断科
Laryngoscope. 2008; 118:1417-1421.	Long-term results of radiotherapy for T1a and T1bN0M0 glottic carcinoma.	Nomiya T	がん臨床センター
Radiotherapy and oncology 2008; 87:326-330.	Efficacy of novel hypoxic cell sensitiser doranidazole in the treatment of locally advanced pancreatic cancer: Long-term results of a placebo-controlled randomised study	Nemoto K	がん臨床センター
Japan Esophageal Society. 2008	Japanese Classification of Esophageal Cancer 10th ed	Nemoto K	がん臨床センター
International journal of radiation oncology, biology, physics 72: 828-33, 2008	Carbon Ion Radiation Therapy for Primary Renal Cell Carcinoma: Initial Clinical Experience.	Nomiya T	がん臨床センター
BMC Cancer. 2008 ;16:11	Prospective single-arm study of 72 Gy hyperfractionated radiation therapy and combination chemotherapy for anaplastic astrocytomas.	Nomiya T	がん臨床センター

小計:12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
医学のあゆみ、2008; 227: 714-718	食道癌に対する放射線療法	根本 建二	がん臨床センター
画像診断、2008;28	放射線治療のための画像診断－食道癌－	根本 建二	がん臨床センター
臨床放射線、2008;53:299-303	放射線治療の光と影	根本 建二	がん臨床センター
日本外科学会雑誌 第109巻第3号 p133-142 (2008.4)	消化器神経内分泌腫瘍の診断と治療 4.膵内分泌腫瘍の発生論	木村 理	第一外科
胆道 第22巻 第2号 p217-22 (2008.5)	外科解剖・病理学的視点からみた漿膜下層浸潤pT2(ss) 胆嚢癌診療の問題点	木村 理	第一外科
膵臓 第23巻 第4号 p473-480 (2008.9)	IPMNに対する外科治療指針の現況	木村 理	第一外科
日本外科学会雑誌 第109巻 第5号 p4247 (2008.6)	外科手術と「オランダの少年」－初期教育の重要性－	木村 理	第一外科
日本臨床外科学会雑誌 第69巻 第9号 p2163-2167-22 (2008.9)	高齢者穿孔性腹膜炎手術症例の合併症、転帰に関する検討	高須 直樹	第一外科
日本外科学会雑誌 第109巻 第6号 p363-368 (2008.11)	脾温存尾側切除術	木村 理	第一外科
胆道 第22巻 第5号 p732-735 (2008.12)	家族性大腸腺腫症術後に発生したVater乳頭部癌に対して乳頭切除術を施行した1例	木村 理	第一外科
膵臓 第23巻 第6号 p703-709 (2008.12)	膵内分泌腫瘍の外科的治療	木村 理	第一外科
Journal of Hepato-Biliary Pancreatic Surgery Vol.15 No.3 p270-277(2008.5)	Strategies for the treatment of invasive ductal carcinoma of the pancreas and how to achieve zero mortality for pancreaticoduodenectomy	Kimura W	第一外科

小計:12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日経メディカル2008年2巻山形版Page1-4	山形県におけるPDAの現状と展望	貞弘 光章	第二外科
小児外科学会雑誌 2008年44巻7号Page965-968	女兒前方痔瘻の1治験例	江村 隆起	第二外科
外科 2008年70巻9号Page1011-1014	腎機能障害を伴った下大静脈・腎静脈血栓症に対し血栓除去術を施行した1例	外山 秀司	第二外科
日本呼吸器内視鏡学会雑誌 2008年30巻6号Page388-391	有茎広背筋皮弁による気管気管支膜様部再建を行なった食道癌術後胃管気管瘻の1例	金内 直樹	第二外科
脳卒中の外科 2008;36:125-128	全身麻酔は高齢者虚血性脳血管障害既往の脳に影響するか	小久保 安昭	脳神経外科
脳神経ジャーナル 2008;17:50-54	斜台部腫瘍摘出における経鼻孔内視鏡手術の経験 術式の工夫	斎藤 佑規	脳神経外科
日本内分泌学会雑誌 2008;84:64-66	経鼻的神経内視鏡手術の進歩	久下 淳史	脳神経外科
Journal of cellular Biochemistry.2008 Volume 105,Pages756-765	Diacylglycerol kinase zeta is associated with chromatin, but dissociates from condensed chromatin during mitotic phase in NIH3T3 cells.	長谷川 浩士	整形外科
The Journal of Rheumatology 2008 Volume35,Pages 1919-1931	Distribution of myeloid dendritic cells and plasmacytoid dendritic cells in the synovial tissues of rheumatoid arthritis.	高窪 祐弥	整形外科
Journal of Biomedical Materials Research Part B Applied Biomaterials 2008 Volume 84,Pages 191-204	Enhanced osteolytic potential of monocytes/macrophages derived from bone marrow after particle stimulation.	玉木 康信	整形外科
医学と薬学 59巻1号 Pages 25-31(2008)	加齢に伴う疾患 橈骨遠位端骨折.	荻野 利彦	整形外科
日本人工関節学会誌 38巻 Pages292-293(2008)	人工関節全置換術におけるフォンダパリスクスの有用性の検討.	川路 博之	整形外科

小計:12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本股関節学会誌 34巻 Pages447-449(2008)	当院における人工股関節全置換術クリニカルパスの電子化と現状.	川路 博之	整形外科
日本股関節学会誌 34巻 Pages287-289(2008)	Small femurに対してCPTシステムを使用した人工股関節置換術の短期成績.	大楽 勝之	整形外科
日本股関節学会誌 34巻 Pages667-669(2008)	人工股関節置換術前後の可溶性フィブリン複合体とD-ダイマーの経時的変化.	大楽 勝之	整形外科
日本人工関節学会誌 38巻 Pages 616-617(2008)	セラミックス対セラミックス使用人工股関節システム破損例の検討.	浦山 安広	整形外科
関節の外科 35巻 Pages19-23(2008)	高度内反変形を伴う関節リウマチによる足関節障害に対して逆行性髄内釘関節固定術で対応した1例.	高窪 祐弥	整形外科
日本人工関節学会誌 38巻 Pages602-603(2008)	セメントレスカップ使用人工股関節置換術における臼蓋外上方部骨移植術の検討.	高窪 祐弥	整形外科
日本関節病学会誌 27巻 Pages153-161(2008)	リウマチ性疾患における前足部免荷装具により早期荷重が可能であった前足部矯正術の短中期成績.	高窪 祐弥	整形外科
日本人工関節学会誌 38巻 Pages72-73(2008)	人工関節周囲組織における免疫担当細胞の検討.	平山 朋幸	整形外科
日本人工関節学会誌 38巻 Pages580-581(2008)	精神疾患を有したTHA適応患者の周術期合併症の検討.	大木 弘治	整形外科
Fetal diagnosis and therapy 2008;24(4):420-424	Prenatal diagnosis of thanatophoric dysplasia by 3-D helical computed tomography and genetic analysis.	Tsutsumi S	産科婦人科
Journal of Endocrinology 2008;199(2):267-273	Differential regulation of the inducible nitric oxide synthase gene by estrogen receptors 1 and 2.	Tsutsumi S	産科婦人科
Molecular Cancer Therapeutics 2008;7(6):1551-1561	Fasudil-induced hypoxia-inducible factor-1 α degradation disrupts a hypoxia-driven vascular endothelial growth factor autocrine mechanism in endothelial cells.	Takata K	産科婦人科

小計:12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncology Reports 2008;19(6):1551-1556	A phase II multicenter trial of concurrent chemoradiotherapy with weekly nedaplatin in advanced uterine cervical carcinoma: Tohoku Gynecologic Cancer Unit Study.	Yokoyama Y	産科婦人科
American Journal of Perinatology 2008;25(1):33-36	A case of retroperitoneal ectopic pregnancy following IVF-ET in a patient with previous bilateral salpingectomy.	Iwama H	産科婦人科
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2008;24(2):341-344	術前診断後、腹腔鏡下に摘出し得た副角妊娠(9週)の1症例.	堤 誠司	産科婦人科
Diabetes, Obesity and Metabolism 2008;10(6):514-515 [letter].	Impaired glucose tolerance, but not impaired fasting glucose, is associated with retinopathy in Japanese population: the Funagata Study.	川崎 良	眼科学講座
Ophthalmology 2008;115(5):817-818 [letter]	Body mass index and retinal vein occlusion.	川崎 良	眼科学講座
British Journal of Ophthalmology 2008;92(10):1320-1324	Racial difference in the prevalence of epiretinal membrane between Caucasians and Asians.	川崎 良	眼科学講座
Eye 2009;23(5):1045-51.	Prevalence and associations of epiretinal membranes in an adult Japanese population: the Funagata study	川崎 良	眼科学講座
Ophthalmology 2008; 115(10): 1735-1741	Prevalence of age-related macular degeneration in a Malay population: the Singapore Malay Eye Study.	川崎 良	眼科学講座
7th International Symposium on Ocular Pharmacology and Therapeutics (Proceedings) 2008;149-152	Effects of intravitreal bevacizumab on neovascular glaucoma.	桐井 枝里子	眼科学講座
臨床眼科 2008;62(8):1339-1341	塩酸レボブノロールの点眼回数切り替えによる眼圧下降効果の検討.	永沢 倫	眼科学講座
臨床眼科 2008;62(9):1467-1471	悪性腫瘍随伴網膜症と診断された網脈絡膜病変の1例.	田邊 智子	眼科学講座
臨床眼科 2008;62(9):1535-1538	ステロイド緑内障に対する選択的レーザー線維柱帯形成術の術後成績.	田邊 祐資	眼科学講座

小計:12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床眼科 2008;62(5):1159-1166	糖尿病黄斑浮腫に対する硝子体手術後に直接の眼科治療によらず黄斑浮腫が変動した2例.	中野 早紀子	眼科学講座
臨床眼科 2008;62(9):1557-1562	ポリープ状脈絡膜血管症における自然経過および光線力学療法後の予後の検討.	羽根田 思音	眼科学講座
あたらしい眼科 2008;25(8):1157-1161	増殖糖尿病網膜症患者の硝子体手術における抗凝固療法術後合併症発生への影響.	松下 知弘	眼科学講座
Aerobiologia 2008; 24: 53-59	Development of electron spin resonance radical immunoassay for measurement of airborne orchard grass (<i>Dactylis glomerata</i>) pollen antigens.	太田 伸男	耳鼻咽喉科
Ear and Hearing 2008 Oct;29(5):667-73.	Transmission pathways of vibratory stimulation as measured by subjective thresholds and DPOAEs.	渡辺 知緒	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 34巻4号 Page600-605 (2008.12)	涙囊・眼瞼悪性腫瘍に対する集学的治療	小池 修治	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科免疫アレルギー 26巻1号 Page17-21(2008.03)	耳介血腫に対するOK-432局所注入療法の効果	太田 伸男	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 80巻11号 Page763-773 (2008.10)	聴性定常反応 -臨床応用の現状と将来-	青柳 優	耳鼻咽喉科
Equilibrium Research 67巻1号 Page51-57	磁気刺激による末梢性顔面神経麻痺の診断	青柳 優	耳鼻咽喉科
European urology 2009 Jan 3.	Prognosis of Japanese Metastatic Renal Cell Carcinoma Patients in the Cytokine Era: A Cooperative Group Report of 1463 Patients.	内藤 整	泌尿器科
Anaesthesia and intensive care. 2008 ;36(4):621-622.	Detachment of Vital Signs Non-latex Breathing Bags 3L during manual ventilation.	Yokoo N	麻酔科
British journal of anaesthesia. 2008 ;101(1):127-128.	Acute withdrawal syndrome in a butorphanol-treated patient: an adverse combination of opioids.	Yokoo N	麻酔科

小計: 12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of anesthesia. 2008;22:197-198.	Intercostal bleeding that developed during thoracic epidural catheterization.	Yokoo N	麻酔科
Anesthesiology. 2008 ;108:763-764.	Backup failure of an adjuvant battery in an Evita 4 ventilator.	Yokoo N	麻酔科
麻酔. 2008;57:76-81	重症心身障害児の麻酔における気道・呼吸器合併症の検討	岡田 真行	麻酔科
日本集中治療医学会雑誌. 2008;15:103-116	危機管理委員会・看護部会合同調査報告 ICUにおけるヒヤリ・ハット事例に関するアンケート調査	川前 金幸	麻酔科
麻酔. 2008;57:1233-1236	レミフェンタニル投与下にトラキライト®を使用した意識下気管挿管の試み	横尾 倫子	麻酔科
日本救急医学会雑誌. 2008;19:486	急性呼吸不全に対する診断, 治療の現況と展望 東北地方における急性肺障害調査報告	川前 金幸	麻酔科
Yamagata medical journal. 2009;27:41-50	Effects of arterial carbon dioxide manipulation on cerebral oxidative metabolism during hemorrhagic hypotension in dogs.	Oda S	麻酔科
日本顎関節学会雑誌 2008年4月20巻1号	顎関節症治療の中断と治療期間の長期化にかかわる因子に関する予備的検討.	濱本 宜興	歯科口腔外科
日本歯科医師会雑誌. 2008年11月61巻8号	脳卒中患者への支援—地域連携クリティカルパスと歯科医療—.	濱本 宜興	歯科口腔外科
日本外傷歯学会雑誌. 2008年12月4巻1号	移植歯および受容部の条件が共に不良な自家歯牙移植症例の検討.	濱本 宜興	歯科口腔外科
山形大学紀要(医学) 2009年2月27巻1号	山形大学医学部附属病院歯科口腔外科における周術期紹介患者に関する検討.	高橋 雪絵	歯科口腔外科
山形大学紀要(医学) 2009年2月27巻1号	当科におけるビスフォスフォネート投与患者の受診状況と抜歯後治癒不全に関する研究	菊地 大樹	歯科口腔外科

小計: 12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
麻酔 57巻5号(2008.05)	Pulse CO-Oximetryの使用経験	永野 達也	救急科
日本救急医学会雑誌 19巻4号(2008.04)	剖検により判明した心サルコイドーシスの1例	大瀧 恵	救急科
中毒研究 21巻4号(2008.10)	急性中毒の拮抗薬 最近の話題 フルマゼニル	伊関 憲	救急科
中毒研究 21巻2号(2008.04)	コリンエステラーゼ阻害剤の中毒 有機リン中毒の治療法 とくに拮抗薬について	伊関 憲	救急科
脳神経外科 (Neurological Surgery) 2008年8月 36巻8号 Page693-700	覚醒下手術時の言語野マッピングにおける陰性運動反応の特徴と意義	鈴木 匡子	高次脳機能障害科
臨床神経学 2009年3月 49巻2-3 Page83-89	高次脳機能障害の診方	鈴木 匡子	高次脳機能障害科
日本股関節学会誌 34巻 Pages314-317(2008)	関節リウマチ股関節障害の病態と機能再建.	高木 理彰	リハビリテーション部
日本人工関節学会誌 38巻 Pages306-307(2008)	人工股関節施行リウマチ性白蓋病変におけるステロイド使用の影響.	高木 理彰	リハビリテーション部
整形・災害外科 51巻 Pages 1638-1639(2008)	人工股関節周囲微小環境における生体反応-Toll-like receptor (TLR)の組織局在,発現.	高木 理彰	リハビリテーション部
東北整形災害外科学科雑誌 52巻Pages42-45(2008)	人工股関節全置換術後における重心動揺計による評価.	小林 真司	リハビリテーション部
日本股関節学会誌 34巻 Pages440-442(2008)	人工股関節全置換術における術後鎮痛法の検討.	小林 真司	リハビリテーション部
整形外科看護 13巻 Pages580-587(2008)	見てわかるベッド上リハビリテーション.	小林 真司	リハビリテーション部

小計: 12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
整形外科看護 13巻 Pages546-552(2009)	早期離床のために術前訓練はなぜ必要か.	小林 真司	リハビリテーション部
臨床整形外科 43巻 Pages333-338(2008)	進行期・末期変形性股関節症に対する外反骨切り術の長期成績.	佐々木 幹	リハビリテーション部
Virchows Archiv : an international journal of pathology. 2008; 452(4):377-382.	Frequent epigenetic silencing of the FHIT gene in penile squamous cell carcinomas.	Motoyama T	病理部
Pathology international. 2008; 58(8):477-482.	Detection of HPV-DNA, p53 alterations, and methylation in penile squamous cell carcinoma in Japanese men.	Motoyama T	病理部
Virchows Archiv : an international journal of pathology. 2008; 452(2):175-180.	Hypomethylation of hepatocyte nuclear factor-1beta (HNF-1beta) CpG island in clear cell carcinoma of the ovary.	Kato N	病理部
Histopathology. 2008;52(6):682-688.	Overexpression of osteopontin in clear cell carcinoma of the ovary: close association with HNF-1beta expression.	Kato N	病理部
日本環境感染学会誌 2008年5月 Vol.23, No.2 :124-128	0.5w/v%グルコン酸クロルヘキシジンエタノールローションおよび4w/v%グルコン酸クロルヘキシジンスクラブの手指消毒効果および経済効果の比較	白石 正	薬剤部
医薬品相互作用研究 2008年7月 Vol.32, No.1:27-31	Clinical Studies on Plasma Concentrations of Acyclovir Treated in Transplant Patients.	Toyoguchi T	薬剤部
TDM研究 2008年10月 Vol.25, No.4:187-190.	臍帯血中薬物濃度による妊婦薬物療法の胎児への影響の検討	豊口 禎子	薬剤部
医療薬学 2008年11月 Vol.34, No.11:1037-1041	授乳婦の薬物療法時における乳児への影響	豊口 禎子	薬剤部
医薬品相互作用研究 2008年12月 Vol.32, No.2:13-16	薬剤部内に設置した相互作用チェックシステムによるリスク回避効果	志田 敏宏	薬剤部
医薬品相互作用研究 2008年12月 Vol.32, No.2:27-30	アミオダロンによるワルファリンカリウムの抗凝固作用への影響と薬学的指導	小嶋 文良	薬剤部

小計: 12

合計: 143

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 山下 英俊
管理担当者氏名	薬剤部長 白石 正, 総務ユニット長 長井 孝行, 医事ユニット長 田中 清, 診療報酬ユニット長 佐藤 祐司

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録			カルテ等病歴資料は、 外来入院別に1患者1 ファイル方式とし、エ ックス線写真は1患者 1資料袋方式で、共に コンピュータによる集 中管理を行っている。
病院日誌		総務ユニット	
各科診療日誌		各診療科	
処方せん		薬剤部	
手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した 患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報部 (診療記録室)	
病院の 管 理 及 び 運 営 に 関 する 諸 記 録	従業者数を明らかにする帳簿	総務ユニット	
	高度の医療の提供の実績	診療報酬ユニット	
	高度の医療技術の開発及び評価の 実績	診療報酬ユニット	
	高度の医療の研修の実績	総務ユニット	
	閲覧実績	総務ユニット	
	紹介患者に対する医療提供の実績	診療報酬ユニット	
	入院患者数, 外来患者数及び調剤 の数を明らかにする帳簿	診療報酬ユニット, 薬剤部	
	掲規 げ則 る第 体9 制条 確の 保2 の3 状 び 況第 1 1 条 各 号 に	専任の医療に係る安全管理を 行う者の配置状況	医事ユニット
		専任の院内感染対策を行う者 の配置状況	総務ユニット
		医療に係る安全管理を行う部 門の設置状況	医事ユニット
		当該病院内に患者からの相談に 適切に応じる体制の確保状況	医事ユニット
		医療に係る安全管理のための 指針の整備状況	医事ユニット
		医療に係る安全管理のための 委員会の開催状況	医事ユニット
		医療に係る安全管理のための 職員研修の実施状況	総務ユニット
		医療機関内の事故報告等の医 療に係る安全の確保を目的と した改善のための方策の状況	医事ユニット

		保管場所	分類方法
病院の 管 理 及 び 運 営 に 関 する 諸 記 録	規 則 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制 確 保 の 状 況	院内感染のための指針の策定 状況	総務ユニット
		院内感染対策のための委員会の 開催状況	総務ユニット
		従業者に対する院内感染対策 のための研修の実施状況	総務ユニット
		感染症の発生状況の報告その 他の院内感染対策の推進を目的 とした改善のための方策の実施 状況	総務ユニット
		医薬品の使用に係る安全な管 理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全 使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業 務に関する手順書の作成及び当 該手順書に基づく業務の実施状 況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必 要となる情報の収集その他の医 薬品の安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための 責任者の配置状況	総務ユニット
		従業者に対する医療機器の安 全使用のための研修の実施状況	MEセンター
		医療機器の保守点検に関する 計画の策定及び保守点検の実施 状況	MEセンター
医療機器の安全使用のために 必要となる情報の収集その他の 医療機器の安全使用を目的と した改善のための方策の実施状況	MEセンター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、
全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 山下 英俊
閲覧担当者氏名	総務ユニット長 長井 孝行
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 第二会議室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.9%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	7,922人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,104人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,136人	
	D: 初診の患者の数	15,382人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有 (2名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (1 2) 名・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 医療事故等防止対策委員会の庶務に関すること。(2) インシデント報告の分析及び医療事故防止対策の策定に関すること。(3) 安全管理のための研修，啓発普及，教育等の企画立案及び実施に関すること。(4) 医療事故防止対策の監査・指導に関すること。(5) リスクマネージャー及びサブリスクマネージャーとの連絡調整に関すること。(6) その他医療事故防止対策に関すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 患者に対する十分なインフォームド・コンセントに基づいて「患者と医療従事者との良好な信頼関係を樹立」し，患者本位の全人的かつ安全な医療を提供する。また，医療に係る苦情，相談についても，適切に対応する。(2) 医療における基本の徹底およびその質の向上を図るとともに，全ての医療従事者に「医療過誤は絶対に起こさない」という意識改革および啓発を図るため，教育・研修および講演会を定期的を開催する。(3) 医療従事者自らが，医療行為の基本的事項を日々点検・確認し，アクシデント又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属リスクマネージャーに報告するとともに，患者及び関係者に説明のうえ適切に対処し，アクシデント内容等の調査・検討及び再発の防止対策を速やかに講ずる。(4) 医療事故を未然に防止するための組織および体制の整備を図る。(5) 本指針は，患者およびその家族等へ掲示等により周知させるものとする。	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 安全管理の指針に関すること。(2) 医療事故防止の体制に関すること。(3) 医療事故防止に関する啓発及び普及並びに研修に関すること。(4) 医療事故防止に係る院内体制に関すること。(5) 医療事故防止に係る調査及び対応策に関すること。(6) その他医療事故に関する必要な事項	

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「医療におけるリスクマネジメント」 (2) 「医療安全の取り組み PDCAサイクルの実践」 (3) 「医療ADRと院内メディエーション」 (4) 「がんの診療体制」 (5) 「院内感染対策」 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療従事者は、本院において医療事故が発生した場合、サブリスクマネージャーに直ぐ報告する。 (2) サブリスクマネージャーは、医療事故のときは医療事故報告書、インシデントのときはインシデント報告書により、リスクマネージャーに報告する。 (3) リスクマネージャーは、サブリスクマネージャーからの報告内容を確認し、報告書により、医療安全管理部（医事課）を通じて24時間以内に報告する。 (4) 病院長は報告内容を確認し、医療事故等防止対策委員会で審議させる。 なお、事実調査等が必要な場合は、専門委員会を設置する。 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	①・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内感染対策のための委員会規程・感染制御部規程 (2) 病院感染対策ガイドライン(標準予防策・感染経路別予防策・消毒法・病原体別の対策等) (3) 感染症発生状況の報告と対策(アウトブレイク時の連絡体制) (4) 感染症法の改訂 (5) 病院環境整備 (6) 感染性廃棄物について 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 感染の予防対策の実施及び指導に関する事 (2) 感染発生時の処置に関する事 (3) その他感染対策に関する事 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 「結核に関する講演会」(10月) (2) 「インフルエンザに関する講演会」(2月) 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内の感染状況のサーベイランスを実施し、感染対策委員会・感染制御部会議で報告。組織的に改善が必要な場合には検討を行う。 (2) 感染対策に関しては、毎週1回感染制御部委員が巡回し現場指導を実施し、感染対策委員会に報告。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 平成21年度新採用職員研修(平成21年4月2日) PDCA事例発表会 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (①・無) ・ 業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医薬品の購入管理 (2) 調剤室での医薬品管理 (3) 病棟・各部門への医薬品の供給管理 (4) 外来・入院患者への医薬品使用 (5) 麻薬の管理 (6) 院内製剤の安全管理 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 厚生労働省からの副作用情報 (2) 採用医薬品の一増一減徹底 (3) 危険薬のリスト作成、病棟への配布 (4) 最大投与量のチェックシステム構築 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) シリンジポンプ・輸液ポンプ及び人工呼吸器の取扱いについて (2) 重症監視モニター・抵圧持続吸引器・除細動器及びSCDの取扱いについて (3) 電気メス及び鏡視下手術装置の研修会 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (①・無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 人工心肺装置，人工透析装置，人工呼吸器，電気メス，除細動器，閉鎖式保育器，高気圧酸素装置に対するチェックリスト及びテスター等の測定器による保守点検 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ メーカー等から提供された安全性情報を、必要に応じて医療機器に文書として添付 	